



かるがも便り

春季
95号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：西森由紀子

今号の
記事内容

- 1面：練馬区の一大イベント第37回【照姫まつり】開催
- 2面：【知られざる練馬の歴史シリーズ⑯ 葛城明彦氏
- 3面：練馬区の美術館巡りシリーズ 練馬区立美術館
- 4面：石神井地域でSDGsに取り組む【区民交流センター】
- 5面：南田中地域で、SDGsに取り組む 練馬区立南が丘中学校
- 6面：練馬内の地域活動団体紹介シリーズ その③【健生会】
- 7面：シニアライフ講座【石神井再開発事業 & 石神井城とその落城】
- 8面：石神井再発見ウォーク、シニアセミナー、歴史講座、編集後記

練馬区西の拠点 石神井公園一帯で、一大イベント第37回【照姫まつり】開催！

4月21日 石神井公園一帯で盛大に開催！

練馬区の西の拠点、石神井公園地域で、すっかりお馴染みになった春の大イベント「照姫まつり」は、今年で37回目を迎える。照姫まつりは、その主役を務める「三役」の役割が大きく、年初からオーディションが行われており、去る2月23日最終決定した。



▲ 左から、坂上秀翁さん、吉田陽さん、松田さくらさん

即ち、照姫役には吉田 陽（よしだ はるか）さん、豊島泰経役は坂上 秀翁（さかがみ ひでお）さん、奥方役は松田 さくら（まつだ さくら）さんが、それぞれ選ばれて、まつりの主役を務めることになった。照姫まつりは、石神井城にまつわる史実に親しみ、ふるさとの意識の高揚と地域の活性化を図ることを目的として、昭和63年に第1回が開催された。照姫まつりの「舞台演技 照姫伝説」では一般公募された総勢約100人が豊島氏一族に扮して“石神井城落城”に因んだ物語を披露する。照姫まつりで披露する物語では落城のとき豊島泰経は三宝寺池で最後を迎えるが、実は平塚城（北区）へと難を逃れ再

起を図ったと記録が残されている。石神井城落城の歴史と照姫伝説とを整理して紹介しているが石神井城落城の歴史と照姫伝説を踏まえ、更に深く照姫まつりの物語を楽しんでいただければとの願いを込めて催されている。石神井公園周辺は歴史と伝説にゆかりの地が数多くあり、石神井城址を始めとして「史跡めぐり」も楽しみの一つである。



▲昨年の照姫まつりパレード模様（練馬区提供）

石神井城の落城と豊島氏の滅亡

室町時代の文明9年（1477年）、当時の石神井城主・豊島泰経は、対立した江戸城主・太田道灌と江古田・沼袋原で戦い、これに敗れた。敗れた豊島泰経は、石神井城へと逃れたが更に太田勢に攻められ石神井城は落城し、平塚城（北区）へと逃げ延びた。翌年、豊島泰経は平塚城で再挙したが再び太田勢に平塚城も落とされ小机城（横浜市神奈川区）へと逃れたが、その後、消息不明となり豊島氏は滅んだとされている。それもいろいろな説がある。（下河秀行）

◆ 開催についての詳しいことは、練馬区ホームページで
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/index.html>

第37回 照姫まつり のお知らせ

- ◆日時：令和6年4月21日（日）10時～15時30分 ◆場所：都立石神井公園とその周辺
毎年春、石神井公園周辺で「照姫まつり」が盛大に開催されています。今年は、照姫役に吉田 陽さん、父親の豊島泰経役に坂上 秀翁さん、奥方役に松田 さくらさんが決定しました。どうぞご期待ください。
- 照姫行列…豪華な時代行列 ●行列演技…野外ステージで出陣式&帰還式などが行われる。
●お囃子・ダンス・楽器演奏などあります。 ●出店…模擬店テント、展示ブース
●その他…石神井公園駅南ロータリーでの演技。 ご家族お揃いでお出かけください。

お買い物は、石神井公園商店街へ

【知られざる練馬の歴史シリーズ⑯】「江古田」地名の由来と江古田駅の変遷

西武池袋線の駅名でもある「江古田」地名の由来については諸説あるが、「エゴノキが生えていた田んぼ」から付いた、とするのが一般的な通説である。この地名の史料上の初出は1480（文明12）年の『太田道灌状』にある「江古田原」で、これは道灌と豊島一族の『決戦の地』、としてもよく知られている。なお、当時は「江古寺」という寺院が現・「江古田の森病院」付近にあって同合戦の際に焼失したといわれ、実際に一帯の発掘調査では、寺院に関連する遺物・遺構なども多数検出されている（一説にはここから「江古田」地名が生じたとも伝わる）。

なお、練馬区内には「江古田駅」があるが、「江古田」という町名（地名）は存在していない。もともと同所には「多摩



▲現在の西武池袋線江古田駅

郡江古田村」があり、それが「上板橋村江古田」（1652年＝慶安5年に新田として開発される）となった後、板橋区成立（1932年＝昭和7年）とともに「板橋区江古田町」となり、さらに練馬区独立（1947年＝昭和22年）後「練馬区」に組み込まれているのである。そして、1960（昭和35）年になると隣接する「中野区江古田」との混乱を避けるため、住民投票により町名が「旭丘」に変更され、区内からは「江古田」地名が消滅している。ちなみに、「旭丘」の町名は、旭丘小学校（旧・上板橋第三小学校）の校歌「のぼる朝日に…」の歌詞から付けられたものである。

現在も中野区側には「江古田」が町名として存在しているが、読み方は「えごた」で、大江戸線・新

江古田駅」の表記も「しんえごた」となっている。一方、西武池袋線側は濁点が移動して「えこだ」（1946年＝昭和21年以降）に変わっており、練馬区側ではすでにこの読み方が定着している（前述のように「エゴノキ」から発生した地名とすれば、本来は「えごた」が正しい読みとも考えられる）。

西武池袋線・江古田駅は、もともと1922（大正11）年に旧制武蔵高等学校（現・武蔵大学・武蔵高等学校・中学校）の設立に合わせ、現在の武



▲武蔵大学(武蔵学園)

蔵野稻荷神社前付近で「武蔵高等学校用仮停留所」として開業した駅である。これは、武蔵高等学校の創立者・根津嘉一郎が、西武池袋線の前身である武蔵野鉄道の株主だったことが関係しており、当初は通学用朝・夕の通学時間帯のみ停車する駅となっていた。本営業が開始されたのは1923（大正12）年で、同時に駅名は「江古田」と改称され、駅舎も東に約50メートル移動することになった。二代目の駅舎は現在の南北地下通路の南側出入口付近にあったが、1958（昭和33）年にさらに30メートルほど東に移動し、2010（平成22）年以降は橋上駅舎となっている。（周辺含めての整備完了は翌2011年＝平成23年）。

なお、江古田駅の北側には、かつて「練馬のアメ横」とも呼ばれた「江古田市場」があり、多い日には1日約1万5千人もの人々が押し寄せていた。駅も多くの買い出し客によって賑わっていたが、市場は2014（平成26）年に閉場となり、今は同所に「市場通り」という名称のみが残されている。

文/写真：葛城明彦（郷土史家）

安心・安全をサービスにおもてなし

石神井公園

旧西友通り

また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

お買い物は防犯カメラの設置された安全な加盟36店舗で

石神井町
二丁目通り商店会



生誕150年 池上秀畝 —高精細画人— ～僕は旧派でも新派でもない～



練馬区立美術館
NERIMA ART MUSEUM

展覧会のみどころ

- 代表作を余すことなく展示 今では行方不明となってしまった作品も多い中、所在調査を重ねて確認された9作品を展覧いたします。どれもその時代を代表する力作揃いで、これだけの出品作が出揃うのは今展が初めてです。
- 大作を数多く、間近に展示 縦約2メートル、横7メートルを超える屏風作品を数多く展示。それ以外にも板戸(杉戸絵)に描かれた作品や縦横2メートルを超える額や、一部の屏風は畳に座って間近で鑑賞できるように展示。本来の屏風の姿を味わってください。
- 写生帖を初公開 秀畝は、持ち歩きサイズのスケッチブックから画室に戻って彩色を施した画帖までおびただしい数の写生を遺しています。完成作では見られないような人物スケッチ、市井の風俗・風景、西洋画の模写など、屏風や掛軸では見られない秀畝画の懐の広さと共に、その視線から秀畝の人となりをうかがい知ることができます。

プロローグ 池上秀畝と菱田春草 日本画の旧派と新派



池上秀畝《秋晴(秋色)》明治40年(1907) 菱田春草《羅浮仙》明治34年(1901)
絹本着色 北野美術館【~3月31日】 絹本着色 長野県立美術館【4月2日~】

第一章 「國山」から「秀畝」へ

《日蓮上人避難之図》は秀畝37歳の作品。日蓮の結んだ草庵が放火にあうが、それを察した白い猿が危機一髪、日蓮を逃がし導いたという伝説を描いています。花鳥画を主とする後年には見られない人物描写の確かさや、物語を表現する構図の巧みさが見られる一幅です。

池上秀畝《日蓮上人避難之図》明治44年(1911) 絹本着色 (一財)北方文化博物館



第二章 秀畝の精華 官展出品の代表作を中心に



池上秀畝《松に白鷺・桃に青鸞図》表・裏
昭和3年(1928) 杉戸絵 オーストラリア大使館

第三章 秀畝と写生

師・寛畝の教え、「高精細画人」の礎



池上秀畝《写生帖》より 祭りを眺める群衆制作年不詳
墨、彩色、紙 信州高速美術館

会 場 練馬区立美術館

会 期 2024年3月16日(土)~4月21日(日)

※会期中、4月1日(月)に展示替えがあります。

休 館 日 月曜日

開館時間 10:00~18:00 ※入館は17:30まで

観 覧 料 一般 1,000円、高校・大学生および65~74歳 800円、中学生以下および75歳以上無料

※一般以外の方(無料・割引対象者)は、年齢等が確認できるものをお持ちください。

※一度観覧された方は初回のチケット半券を受付に提示すると300円割引。

主 催 練馬区立美術館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

共 催 長野県立美術館

助 成 美術館連絡協議会、読売新聞社

第四章 屏風と秀畝 画の本分



池上秀畝
《桜花双鳩・秋草群鶴図》
大正10年(1921)
絹本金地着色二曲一双
練馬区立美術館
【4月2日~】

エピローグ 晩年の秀畝 衰えぬ創作意欲



池上秀畝《飛蝶》昭和12年(1937) 紙本着色3面のうち2面 個人蔵

※展覧会および関連イベントの最新情報、ご来館にあたっての注意事項等につきましては、美術館のホームページをご確認ください。

E メ ー ル info-museum@neribun.or.jp
H P https://www.neribun.or.jp/museum.html

所 在 地 〒176-0021 東京都練馬区貫井1-36-16

電話: 03-3577-1821

※駐車場はございません。(美術館周辺にコインパーキングがあります)

※障害者用の駐車場については、直接お問い合わせください。

診療科目

- 内 症 内 科
- 糖 尿 病 内 科
- リウマチ 科
- 胃 腸 内 科
- 循環器 内 科

菅原医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

診療時間

- | | | | |
|-----|------------------------------|-----|------------------------------|
| 平 日 | 午前9:00~12:30
午後3:30~ 7:00 | 土 曜 | 午前9:00~12:00
休診日:水曜/日曜/祝日 |
|-----|------------------------------|-----|------------------------------|



練馬区石神井町3-9-16



石神井地域で取り組む【SDGs】について考えてみることにした。

【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供したり、生涯学習の機会を促進したり、区民同士の集い場を提供したりなど、【SDGs】(持続可能な開発目標)の取り組みについて、今回は、地元 石神井公園区民交流センター所長 尾形 松夫氏にインタビューした。

【目標は、大きく17項目に分かれている】

Q1. 区民交流センターの特徴は?

A. 西武池袋線「石神井公園駅」の北口

「新東京百景」にも選ばれている「石神井公園と三宝寺池」の玄関、西武池袋線「石神井公園駅」の北口目の前の位置にあります。

再開発事業により生まれかわったまちの新しい顔として、平成14年4月22日に石神井公園区民交流センターがオープンしました。

設置場所は石神井公園駅中央改札口を出、北口斜め前方の高層ビル「ピアレス」の2・3階です。

センターには4つの役割があります。1つ目は「区民のみなさまの文化活動と交流を促進するための場の提供」2つ目は「消費生活に関する各種啓発事業や、自主的活動を促進するための場の提供」3つ目は「区内産業振興に関する情報の発信のための場の提供」4つ目は「区民のみなさまの職業相談の場の提供」です。

当センターには、いつでも利用できるスペース(資料コーナー等)と事前申込みの上有料で貸出しスペース、練馬区産業経済部経済課消費生活係、練馬区消費生活センター、ワークサポートねりま(ハローワーク池袋の出先機関)があります。

練馬区消費生活センターは契約のトラブルや商品の苦情などについて、専門の消費生活相談員が相談者とともに考え、解決のためのお手伝いをしております。ワークサポートねりまでは、練馬区内はもとより全国の求人情報を見つけることができ、紹介状のお渡しができます。定期的にミニ面接会、セミナー等実施しております。(雇用保険・職業訓練は取扱い無し)

Q2. SDGSの取り組みについて

A. 健康で明るい生活

当センターには、文化活動と交流を目指して活動しているサークルが800弱あります。サークルのメンバーは65歳以上の方が多く、英語等の語学学習、太極拳・ヨガ、絵画・フラワーアレンジメント、舞踊、社交ダンス等と、身体を動かしたり、手指を動かしたり、見た目にも健康的な時間を過ごしていらっしゃいます。

当センターもみなさまの健康の一端を担えればと「体幹運動」を月2回実施しており、抽選により無料でご参加いただいております。

また、健康といえば日々の食事は欠かせません。専門の方にご協力をいただき、年2回親子で参加いただく食育の一環として「料理教室」も開催しております。いずれも開催日等につきましては区報にてお知らせしております。ぜひご参加ください。

この様にSDGsに関する取組みの他、小学生の職場訪問や、「練馬区消費生活展」等のイベント等多数開催されますので、その際はぜひ足をお運びいただければ幸いでございます。

Q3. 練馬区帰宅支援ステーションの開設

A. 次のような状況が発生した際に開設されます。

- ①練馬区の区域内で震度5弱以上を観測する地震が発生した場合
- ②周辺地域で大きな揺れを観測する地震により、区内を通過する鉄道が運転を停止した場合



K's TRUST

石神井公園駅そばにある創業52年、総合保険代理店です。
皆様が安心して生活できるよう保険でサポートいたします。

株式会社K'sトラスト

〒177-0041 練馬区石神井町3-25-8 橋本ビル2階

FAX 03-5923-7776
e-mail info@ks-trust.net

《取扱保険会社》

三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上あいおい生命保険株式会社・東京海上日動あんしん生命保険株式会社・ジブラルタ生命保険株式会社





▲南田中図書館のSDGs展示コーナー

4 質の高い教育をみんなに



石神井地域で取り組む【SDGs】について考えてみることにした。

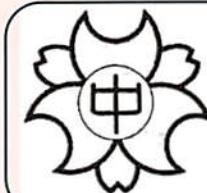
【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。【SDGs】(持続可能な開発目標)

の取り組みについて、今回は、練馬区立南が丘中学校校長宮田 健史氏にインタビューした。

【目標は、大きく17項目に分かれている】

Q1. 南が丘中学校の紹介

A. 本校は、昭和54(1979)年4月1日に石神井南中学校を母体として開校し、今年度(令和6年度)で46年目を迎えます。学区域は、東は中野区に南は杉並区と接しており、環八通りと笹目通りの合流点のやや西に校舎があります。生徒数は300名弱です。全学年が3クラスずつなので行事の時には、縦割りで応援したり上級生が下級生に練習方法を見せたりして、上・下級生の仲が良いです。さらに、特別支援学級が設置されており、通常学級の生徒と委員会やスポーツ交流を重ねながら、自分の特性や理解度に応じた学習を重ねています。生徒たちは、「あ・い・さ・つ」「じ・かん」「み・だしなみ」「こ・とばづかい、こ・ころづかい」「し・せい(姿も心も)」の頭文字をとった「あじみこし」を合い言葉に、これらを行い、より良い学校を作ろうと学習に部活動に行事に取り組んでいます。



花弁を重ね合わせて、桜を図案化した校章です。みんなの努力が美しく実り、花を開かせ、南が丘中学校のこれから発展を象徴するという意味と期待が込められています。

Q2. 南が丘中学校の教育理念は

A. 本校の教育目標は、「進んで学び、深く考え積極的に行動する人」「思いやりの心をもち、互いに協力する人」「心身ともに健康で創造力のある人」です。基本方針に「学ぶにあふれ 自律した社会人への基礎を築ける学校」を掲げ、生徒が「学び(成長)」

と「自律(主体的)」を身に付け、社会で活躍できる人になれるよう指導を重ねています。令和6・7年度は練馬区教育課題研究指定校となりました。時代に応じた人材の育成を目指して、学校ができる事を教職員・保護者・地域と共に学びながら、生徒の生きる力をさらに伸ばしていきます。

Q3. SDGsの取り組みについて

A. 学校生活の中で、生徒にちょっと意識を向ける働きかけを続けています。この小さな働きかけは、生徒たちが将来、新しい薬品や技術を開発したり、世界中の仲間と手を携え、組織の一員として課題を解決したり取り組んだりする人材の種になるとを考えます。

先日、本校の給食室前に、栄養教諭が作った面白い天秤がありました。現在練馬区では、給食で提供される牛乳パックをリサイクルして、トイレットペーパーにしています。当番は給食後、空になった牛乳箱を集め、水場で開いて洗い、翌日乾いた紙パックを給食室に返します。水が冷たい時期は、避けたい係活動かもしれません。そんな生徒の気持ちを想像したのでしょうか。私たちがしているリサイクルの活動を、目で見て分かる形にしていました。給食の牛乳パック20個でトイレットペーパー1巻になるそうです。リサイクル活動はSDGs12にある「つくる責任、つかう責任」に該当します。このように、日頃の活動にちょっと意識を向ける活動で、生徒の関心や意欲を伸ばしています。

東京都練馬区南田中4-8-23
TEL03-3904-5782(代表)



葬儀に関する事なら何でもご相談ください

24時間
安心ダイヤル

フリーダイヤル
0120

ヨイセレモニー
0120-41-7062

感謝のセレモニー マキノ祭典

■本社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040 ■営業所：東大泉
■サロン：大泉学園町店・大泉学園駅前店

マキノ祭典

検索

～練馬区のサークル紹介～ その③

練馬で活発な活動の【NPO 法人健生会】

NPO法人健生会は1985年に「練馬健康と生きがいを語る会」として設立され、2012年にNPO法人となりました。設立以来「自分の健康は自分で守り、みんなの健康はみんなで守ろう。健康を与えられたらボランティア活動をしよう」をスローガンに様々な活動を行っています。現在の会員数は約120名で、大半が練馬区在住です。

当会の主な活動は下記のとおりです。

① 健生会ニュースの発行

創立以来、健康と生きがいに関する月刊情報誌「健生会ニュース」を発行しており、2024年3月で470号となります。会員に配布するほか、練馬図書館やココネリでもお配りしています。

② 健康と生きがいに関する講演会の開催

本年度はココネリ・ホールにて
「スマホを使った楽しいシニア生活」「認知症の理解」「ジャズの楽しみ方」「終活講座」を開催しました。

③ サークル活動

当会には以下のサークルがあり、夫々10~20名の会員が活動しています

- ・シルバー・コーラス (女声合唱)
- ・まゆの会 (手芸)
- ・シネマクラブ (最新映画観賞)
- ・読書サロン (読書と懇話)
- ・太極拳健康体操 (練功十八法)
- ・こぶし朗読の会 (朗読の稽古)
- ・スマート俱乐部 (スマホ操作解説と応用)
- ・東京探訪クラブ (都内の名所訪問)

④ ボランティア活動

- ・やすらぎ会による使用済み切手の整理
- ・有志による福祉施設でのカレー作り
- ・福祉施設での朗読・読み聞かせ

⑤ 家族でバンザイ・みんなのぶんかさい

前身は「みんなのおんがくかい」で、2011年よりほぼ毎年開催しています。

⑥ 季節のイベント

- ・新年会
- ・納納涼食事会
- ・他

NPO法人健生会のイベントを紹介

本年1月27日に、練馬区生涯学習センター・ホールにおいて「第二回家族でバンザイ・みんなのぶんかさい」を開催しました。家族、学校や地域での繋がりをテーマとし、当会のサークルやゲストの方々によりコーラス、指笛、健康体操、詩吟と詩舞、楽器演奏を220名の来場者に楽しんでいただきました。今回は地元の小学校の合唱団や光が丘のアンデス演奏グループを初めてお招きしました。また、手話による演目の解説を行いました。この催しは前身の「みんなのおんがくかい」を含めると12回目となります。

会場の様子は、「Facebook」にも掲載されています。



▲家族でバンザイ・みんなの文化祭の一コマ

NPO法人健生会のご案内

ホームページ <http://www.npo-kenseikai.com>

お問合せ 電話 080-6555-5007 山本

e-mail yamamoto.kenseikai@gmail.com

この4月からジャズをご一緒に楽しく歌いませんか？～二つのジャズ教室で会員募集中！～
「えーる会場」と「生涯学習センター会場」で開講中・お気軽にご参加下さい

◎日 時：原則として、毎月 第1・3月曜日 午前10時15分～11時45分

◎と こ ろ：練馬区立男女共同参画センター えーる 2階 視聴覚室

◎日時：原則として毎月 第2・4土曜日午前10時15分～11時45分

◎と こ ろ：練馬区立生涯学習センター 2階 第1教室 & 第3教室

◎講師：矢作木の実（ジャズ歌手&ピアニスト） ◎入会金：4,000円 ◎会費：5,000円

練馬ジャズを楽しむ会 ☎ 080-6607-4321 & e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp



~住み続けられる まちづくりを目指して~

次世代へ繋ぐ まちづくり講座

〈南東から望む〉



石神井公園駅南口西地区再開発組合説明会資料による

世界を見渡せば、ロシアのウクライナ侵攻を始めとして各地で人間同士の見ににくい戦いが絶えない

更に貧困、気候変動、格差、人種やジェンダーに起因する差別などあるが、私たちは地域で国連が推進するSDGs(持続可能な開発目標)に少しでも協力していきたい。

それで、【住み続けられるまちづくり】を目指して、この度、これらに関連する講座を開催することにした。

石神井地域の「住みよいまちづくり」活動を行なっている地元で、今回石神井公園駅南口西地区で賛否両論があった【再開発事業】が、いよいよ始まった。

そこで第一部では、石神井のまちが大きく変わろうとする都市計画などの経過を含めて【石神井駅南口西地区再開発事業】の課題と将来性について皆様と一緒に考えることにした。

第二部では、武蔵野面影が漂う石神井公園を始めとして、石神井の古い歴史について郷土史家で歴史家の葛城明彦氏による【石神井城とその落城】について、お話をさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

◎とき：令和6年6月23日(日)(4月の抽選で最終決定) 開場1時30分 開演2時～4時

◎ところ：練馬区石神井町 石神井庁舎 5階会議室(石神井公園駅から徒歩約5分)

◎講座：第一部：賛否両論あった【石神井駅南口再開発事業】について

講師：ねりまシニアネットワーク 楽友会 会長 下河秀行

第二部：歴史と文化講座 【石神井城とその落城】について

講師：歴史家 & 郷土史家 葛城 明彦

◎申込み：氏名・住所・連絡先記入の上、申込み順に 50名 ◎会費：500円

◎主催：N S N ねりまシニアネットワーク 楽友会

◎後援：練馬区教育委員会

◎お申し込みは、ねりまシニアネットワーク 楽友会（下河）

e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp か TEL 080-6607-4321へ

お住まいのご相談は、お気軽に・・・夢・・・住まいの明日を創る

建築・設計・施行・不動産売買 リフォーム工事承ります!!

建築業許可都知事(4)55259号 宅建業免許都知事(12)37486号

株式会社 山田工務店

〒177-0042 東京都練馬区下石神井1丁目14番30号 電話(03)3904-3521(代表) FAX(03)3904-3523

練馬のまち歩き 第9回「石神井再発見ウォーク」参加者募集！石神井まちづくりの会

- ◎とき：5月19日(日) 12時45分に集合。
- ◎ところ：石神井公園駅改札口前から午後1時発
- ◎定員：お申し込み先着25名
- ◎参加費：500円（テキスト代含む）
- ◎講師：郷土史家 葛城 明彦氏
- 石神井公園駅前～①石神井火車站之碑～②石神井池～③豊田記念庭園～④伝・亀の尾城跡～⑤禅定院

～⑥石神井公園グラウンドB～⑦野外ステージ～⑧池中モニュメント～⑨池淵史跡公園～⑩栗原家長屋門～⑪三宝寺～⑫道場寺～⑬練馬区立石神井公園ふるさと文化館 分館で解散。

申込み：住所、氏名、電話番号をお知らせください
e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp
もしくは、携帯 080-6607-4321

～ NSNねりまシニアネットワーク主催【シニアセミナー】のご案内～

ねりまシニアネットワーク(NSN)が主催者として毎年「シニアセミナー」を開催し、お集まりいただいた方々で「地域の同世代の仲間と「活動の場」「居場所」過去の経験を生した自己完成」のきっかけ作り』をしていただいており、セカンドライフを楽しむ！



▲新しい仲間づくりシニアセミナー

あなたも新しい仲間づくりに参加しませんか？

今年の「ねりまシニアセミナー」を、下記の通り開催します。皆様のお集まりをお待ちしています。

- ◎日 時：5月26日(日) 13時～16時30分
- ◎場 所：練馬区民産業プラザ「ココネリホール」
- ◎議題：基調講演：「シニアライフの楽しみ方」
- ◎講 師：シニア大楽 理事長 藤井敬三氏
- ◎会 費：500円、事前予約の上、ご出席下さい
- ◎申込み：e-mail nerimaNSN2024@gmail.com
もしくは 電話：080-7529-0096

～第23回 練馬まちづくり【歴史と文化講座】開催のお知らせ！～

- ◎とき：令和6年6月2日(日)午後1時30分開場 開演 午後2時～4時
- ◎ところ：石神井公園 ふるさと文化館1階 会議室(駅南口⑭からバス有)
- ◎テーマ：～江戸の成り立ちと、江戸城天守を再建する運動～
- ◎講師：太田道灌 第18代子孫 歴史家&批評家 太田資暁氏
- ◎定員：先着60名（行列が出来る講座です、早目にお申込み下さい）
- ◎会費：テキスト代を含め、500円
- ◎申込み先：南田中のまちを考える会 e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp 又は(携帯) 080-6607-4321



編集 後記

それに基づいて、現在まで、石神井公園駅周辺地区の【全体構想】が進められてきた。その時、協議会の動きを練馬区民に伝えるために、練馬区と協議会の内容を協働で【かるがも便り】8号を発行した。

今後【かるがも便り】の通し発行番号として、この区と協働発行8号と、現在の87号と併せて95号と表示することにしたのでお知らせします。

下河秀行

練馬区都市整備部が、2000年(平成12年9月)練馬高野台～大泉学園駅間の「開かずの踏み切り解消」を目指して、【石神井公園駅周辺地区まちづくり協議会】(会長は、元練馬区議会議員豊田三郎氏)を立ち上げた。同まちづくり協議会は、丁度1年6ヶ月かけて、石神井のまちづくりについて協議を重ねて、元岩波区長に「提言書」を提出した。

その内容は、1. 交通問題、2. 土地の利用、3. まちの活性化、4. 地域コミュニティについてであった。

～お知らせ～

当院では、**歯科訪問診療**を行っています



クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで

ご家庭や施設など限られた環境でも
経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応

みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします

院長 清水 雄一郎

どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください

Shimizu Dental Clinic

シミズ デンタル クリニック

歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科

練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
石神井パークロード商店街 銀座通り

診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
お休み 13:00～14:00
日曜 祝祭日 年末年始 休診

03-6913-3517

<https://firstmolar.jp/>

石 神 井
まちづくりの会

ご意見等は、**電郵**&**FAX**、又は左下の**e-mail**へ送信してください。

TEL & FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。